

**製品名: Eps15 (リン酸化 Tyr849) ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab04623**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	100kDa

**抗原情報**

遺伝子名	EPS15
別名	EPS15; AF1P; Epidermal growth factor receptor substrate 15; Protein Eps15; Protein AF-1p
遺伝子 ID	2060.0
SwissProt ID	P42566
免疫原	ヒト Eps15 のリン酸化部位（リン酸化 Tyr849）周辺の合成リン酸化ペプチド

**背景**

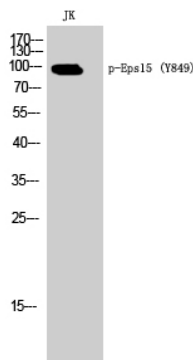
この遺伝子は、EGFR 経路の一部を構成するタンパク質をコードしています。このタンパク質はクラスリン被覆小窩に存在し、受容体を介した EGF のエンドサイトーシスに関与しています。特に、この遺伝子は急性骨髄性白血病において HRX/ALL/MLL 遺伝子と共に

再構成されます。選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする複数の転写産物バリエーションが生成されます。[RefSeq 提供、2009 年 5 月];疾患: 急性白血病では EPS15 に関連する染色体異常が認められます。MLL/HRX との転座 t(1;11) (p32;q23)。その結果、異常な活性化タンパク質が生成されます。ドメイン: EH ドメインは、標的タンパク質の Asn-Pro-Phe (NPF) モチーフと相互作用します。機能: 細胞増殖の調節に関与しています。細胞分裂促進シグナルの調節および細胞増殖の制御に関与している可能性があります。受容体チロシンキナーゼ (RTK) 型のリガンド誘導性受容体、特に EGFR の内在化に関与する。クラスリン被覆小窩の形成にも関与する。PTM: Tyr-849 のリン酸化は EGFR の内在化に関与する。EGF 処理後の膜移行や被覆小窩への標的化には必須ではないが、EGFR エンドサイトーシスの次のステップには必須である (類似性に基づく)。DNA 損傷 (おそらく ATM または ATR による) 時にセリンがリン酸化されます。類似性:2 つの EF ハンドドメインを含みます。類似性:2 つの UIM (ユビキチン相互作用モチーフ) リピートを含みます。類似性:3 つの EH ドメインを含みます。細胞内局在:エンドソーム上の二重層クラスリンコート上で HGS と共存します。細胞内局在:EGFR が活性化されると細胞膜にリクルートされ、被覆小窩に局在します。サブユニット:HGS と相互作用します。この相互作用により、STAM または STAM2 と EPS15 の相互作用が橋渡しされます。アイソフォーム 2 は HGS および AP2A2 と相互作用します。少なくとも EPS15、HGS、および STAM1 または STAM2 のいずれかから構成される複合体の一部です。AP2A2 および AP2B1 に結合します。STON2 および EPN1 に結合します。SH3BP4/TTP と相互作用する。組織特異性:普遍的に発現する。

## 研究分野

エンドサイトーシス;

## 画像データ



リン酸化 Eps15 (Y849) ポリクローナル抗体を用いた JK 細胞のウェスタンブロット解析